

裏磐梯の絶滅危惧種 花

1・目的

昨年調査したオキナグサ、トキソウ（2カ所）、セイタカスズムシソウ、及びサンリンソウと近くにあったチョウセンゴミシを調査する。

2・結果

磐梯山のオキナグサは去年とおなじ5月28日に調査したが開花していた植物がかなり違っていた。

サンリンソウ、チョウセンゴミシ、トキソウ（五色沼付近）などの調査対象種（地点）については、前年に比べて大きな変化はなかったがセイタカスズムシやトキソウ（秋元付近）は開花や芽生えが異常に少なかった。

トキソウ（五色沼付近）の土地所有者が代わり環境の変化が心配される。

3・考察

生育にマイナスの要因と思われるもの

- 1) 自然の遷移による
- 2) 園芸の為の採取
- 3) 湿原の開発
- 4) 森林の伐採
- 5) 気候の変化

裏磐梯では主なる原因は1)、2)、3)、5)などが考えられる。

4・対策

- 1) 環境省などが保護に力を入れてもらう。そして盗掘の取り締まりをする。
- 2) 民間の自然ガイドなどを監視員に委嘱し、巡視の協力をしてもらう。
- 3) 当該地点については特定の監視員等のみが把握し、一般への公表は控える。
- 4) 子供達に生物多様性の大切さを教える。

以上のような点をふまえて、早急なる保護対策が必要と思われる。

5・概要

平成29年5月28日
平成29年6月12日
平成29年6月28日
平成29年8月03日

調査者 友坂 豊

調査項目及び結果 以下に示す